



子育てコンシェルジュだより

掛川市子育てコンシェルジュ（市役所 1 階南側こども政策課内）
Email:kosodate@city.kakegawa.shizuoka.jp ☎21-1211

掛川市公式ライン



子育てや観光・防災などお役立ち情報が手軽に入手できます。ぜひ友だち登録をお願いします

ことばの育ちは こころの育ち

ことばは相手に伝えたい、わかって欲しいと思う気持ち、それをわかってもらえた時の喜びなど、人とのコミュニケーションの積み重ねで育っていきます。同時にそのかかわりの中で共感や思いやりなど心も育っていきます。

テレビやスマートフォンを見ながら返事やことばがけはやめて、**目を見て語りかけて**あげるといいですね。

1～3歳くらいまでことばの育ちは個人差が大きいものです。他のお子さんとは比べたり焦ったりせず、今、親子でできることを楽しみながらことばを育てていきたいものです。




どのような場面でどのようなことばを掛けたらいいのかな？


ことばの育ちは生まれてからすぐに始まります。パパやママなど家族の声をたくさん聞かせてあげましょう。

たとえばこんな場面で…


■おむつ替え 「〇〇ちゃんオムツ替えようね」「いっぱい出たね」「すっきりして気持ちいいね」など




■「あ～」「う～」などおしゃべりしている時
同じように「あ～」「う～」など、声を真似る、「〇〇ちゃん、ご機嫌だね」「お散歩行こうか」など




■ねむい時
「ねむくなったね」「いいこね～」「♪ねんねんね～♪（子守唄）」など



■抱っこを求めた時
「〇〇ちゃん、おいで」「抱っこして欲しいのね」など



■声が聞こえたら
「はあい」「〇〇ちゃんママはここよ」など声をかけましょう



■遊び
大人との安心した時間の中で、ことばを覚えていきます






■こどもが興味を示しているものをことばにする

「これなあに？」と興味を持った時がことばを覚える時です



■ 動作や状態をあらわすことば



動きにことばを添える「ばらばら」「ころころ」「ごろんごろん」など赤ちゃんの好きな音を見つけよう

■ 食事

食事は、嗅覚、味覚、視覚、触覚など五感をたくさん働かせることばの育ちに大切な時間です。食べ物の名前、口の動かす音「もぐもぐ・かみかみ」も一緒に伝えてあげたいですね



■ 生活習慣



自分でできるようになるための手がかりになることばかけ



■ 挨拶



毎日の挨拶は大切なコミュニケーション

★「切り替えことば」と「言い換えことば」★

子どもが思うようにいかない時に、感情を切り替えて気持ちが前向きになれることば(切り替えことば)と、子どもにわかりやすいことばに換えて行動を促すことば(言い換えことば)があります。

【切り替えことば】

「泣くのはおしまい」
「いたいいたいのとんでいけ」
「指切りげんまん」
「あとで」
「〇〇したらしようね」



気持ちが切り替わったら、「〇〇したかったんだね。」と共感のことばをかけると子どもが理解してもらえたと安心します。

【言い換えことば】

- 早くしなさい
→こうやってできるかな?など(具体的に示す)
- がんばりなさい
→よーいどん!新幹線に変身だ!
10数えるうちにできるかな?など
- ちゃんとしなさい
→楽しくやっちゃおう
よく頑張っているね など
- その他「ダメ」「イケナイ」
→否定するだけではなく、具体的にどうして欲しいかを伝えることも大切



★相手の悪いところを責めることばはどんな優しい口調でも相手を傷つけます
自分の気持ちを(私)ことばで伝えましょう
【例】静かにしなさい→
私は、〇〇ちゃんが大声をだすと、お話が聞こえなくてとっても困るのなど

※参考図書

- 「こどもの発達に合わせたお母さんの語りかけ」著：中川信子
- 「感情をうまく伝えられない子への切りかえ言葉」著：湯汲 英史